安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	21-2394-1	**版**	11.00
発行日	2025/06/09	**前発行日**	2024/01/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ 強力一番プラス 8484

３M ストックナンバー
JS-4000-0013-4

7010720033

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
自動車の天井への断熱材の接着

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	ｵｰﾄ･ｱﾌﾀｰﾏｰｹｯﾄ 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類
エアゾール： 区分１
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ａ
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分２

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎　感嘆符　環境

ピクトグラム

危険有害性情報

H222	極めて可燃性の高いエアゾール
H229	高圧容器：熱すると破裂のおそれ
H319	強い眼刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには，製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P211	裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P251	使用後を含め，穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P410 + P412	日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501　　内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性
故意に濃縮した誤使用や、成分を吸引するような使用法は、健康に有害で致死的な場合がある。　使用中の流出を防ぐように設計されたノズル付きの加圧密閉容器で販売される製品のため、誤えん有害性の区分は適用されない。　酸素と置換され、急速な窒息を引き起こす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ジメチルエーテル	115-10-6	35
アセトン	67-64-1	17
シクロヘキサン	110-82-7	16
クロロプレンゴム1	営業秘密	1 - 10
クロロプレンゴム2	営業秘密	1 - 10
アルキルフェノール樹脂	営業秘密	1 - 10
2-メチルペンタン	107-83-5	6.8
メチルエチルケトン	78-93-3	5.5
3-メチルペンタン	96-14-0	4.1
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	0.84
ヘキサン	110-54-3	0.48
酸化亜鉛	1314-13-2	0.18

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために二酸化炭素又はドライケミカル消火器を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
可能であれば漏洩した容器をシールする。漏洩容器を換気フードに置いて換気する。必要に応じて、漏洩容器や内容物の収納に適した容器が準備できるまで屋外の不透性床の上で保管する。　漏洩を止める。　漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
密閉された換気不良の場所で使用しないこと。　子供の手の届かないところに置くこと。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。　使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　指定された個人保護具を使用する。　蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
2-メチルペンタン	107-83-5	ACGIH	TWA:200 ppm	A3: 動物発がん性物質
ヘキサン、すべての異性体	107-83-5	JSOH OELs	TWA（８時間）：140 mg/m3（40 ppm）	皮膚
ヘキサン	110-54-3	ACGIH	TWA：50ppm	皮膚吸収の危険性。
ヘキサン	110-54-3	ISHL	TLV（８時間）：40 ppm	
ヘキサン、すべての異性体	110-54-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：140 mg/m3（40 ppm）	皮膚
シクロヘキサン	110-82-7	ACGIH	TWA：100 ppm	
シクロヘキサン	110-82-7	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):100 ppm	25℃1気圧空気中
シクロヘキサン	110-82-7	JSOH OELs	TWA（８時間）：520 mg/m3(150 ppm)	
ジメチルエーテル	115-10-6	AIHA	TWA:1880 mg/m3(1000 ppm)	
酸化亜鉛	1314-13-2	ACGIH	TWA（吸入性分画）：2 mg/m3、STEL（吸入性分画）：10mg/m3	
酸化亜鉛	1314-13-2	ISHL(濃度基準値)	TWA（８時間）：0.1 mg/m3	25℃1気圧空気中
酸化亜鉛	1314-13-2	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4 mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1 mg/m3;TWA(8時間):0.5 mg/m3	

アセトン	67-64-1	ACGIH	TWA:250 ppm;STEL:500 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
アセトン	67-64-1	ISHL	TLV（８時間）：500 ppm	
アセトン	67-64-1	JSOH OELs	TWA(8 hours):475 mg/m3(200 ppm)	
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA:75 ppm;STEL:150 ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（推奨)(8 時間):221 mg/m3（75 ppm)	皮膚
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	ACGIH	TWA:200 ppm	A3: 動物発がん性物質
ヘキサン、すべての異性体	79-29-8	JSOH OELs	TWA（８時間）：140 mg/m3（40 ppm)	皮膚
3-メチルペンタン	96-14-0	ACGIH	TWA:200 ppm	A3: 動物発がん性物質
ヘキサン、すべての異性体	96-14-0	JSOH OELs	TWA（８時間）：140 mg/m3（40 ppm)	皮膚

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の酸素が減少した場所に、とどまらないこと。　スプレーブースあるいは局所排気で使用する。　空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
サイドシールド付安全メガネ
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エ

プロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)
有機ガス吸収缶の有効期間が短くなる可能性がある。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	エアゾール
色	黄色
臭い	溶剤
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*
引火点	-46 ºC［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	2 なし。［*参照基準：*エーテル＝１］
引火性	エアゾール： 区分１
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	*データはない。*
比重	0.73 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	無視できるレベル。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	85 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎
沸点以上の温度

混触危険物質
強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
単純性窒息： 心拍数の増加、切迫呼吸、眠気、頭痛、協調不能、判断力の変化、吐き気、嘔吐、昏睡、発作、死亡などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレ

ルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ジメチルエーテル	吸入－ガス (4 時間)	ラット	LC50　164,000 ppm
アセトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,688 mg/kg
アセトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50　76 mg/l
アセトン	経口摂取	ラット	LD50　5,800 mg/kg
シクロヘキサン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シクロヘキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 32.9 mg/l
シクロヘキサン	経口摂取	ラット	LD50　6,200 mg/kg
2-メチルペンタン	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
2-メチルペンタン	吸入－蒸気		LC50 推定値＞ 50 mg/l
2-メチルペンタン	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50　34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50　2,737 mg/kg
3-メチルペンタン	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
3-メチルペンタン	吸入－蒸気		LC50 推定値＞ 50 mg/l
3-メチルペンタン	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
クロロプレンゴム1	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

クロロプレンゴム1	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
クロロプレンゴム2	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
クロロプレンゴム2	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 20,000 mg/kg
2,3-ジメチルブタン	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
2,3-ジメチルブタン	吸入－蒸気		LC50 推定値＞ 50 mg/l
2,3-ジメチルブタン	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
ヘキサン	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
ヘキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 170 mg/l
ヘキサン	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 28,700 mg/kg
酸化亜鉛	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
酸化亜鉛	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 ＞ 5.7 mg/l
酸化亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アセトン	マウス	ごく僅かな刺激臭
シクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
2-メチルペンタン	専門家による判断	軽度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
3-メチルペンタン	専門家による判断	軽度の刺激
クロロプレンゴム2	ヒト	刺激性なし
2,3-ジメチルブタン	専門家による判断	軽度の刺激
ヘキサン	ヒト及び動物	軽度の刺激
酸化亜鉛	ヒト及び動物	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アセトン	ウサギ	激しい刺激
シクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
2-メチルペンタン	専門家による判断	中程度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
3-メチルペンタン	専門家による判断	中程度の刺激
クロロプレンゴム2	専門家による判断	刺激性なし
2,3-ジメチルブタン	専門家による判断	中程度の刺激
ヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
酸化亜鉛	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサン	ヒト	区分に該当しない。
酸化亜鉛	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ジメチルエーテル	In vitro	変異原性なし
ジメチルエーテル	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
シクロヘキサン	In vitro	変異原性なし
シクロヘキサン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
ヘキサン	In vitro	変異原性なし
ヘキサン	In vivo	変異原性なし
酸化亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ジメチルエーテル	吸入した場合	ラット	発がん性なし
アセトン	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
ヘキサン	皮膚	マウス	発がん性なし
ヘキサン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジメチルエーテル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 40,000 ppm	器官発生期
アセトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,700 mg/kg/日	13 週
アセトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.2 mg/l	器官発生期
シクロヘキサン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	2 世代
シクロヘキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	2 世代
シクロヘキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6.9 mg/l	2 世代

メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
ヘキサン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 2,200 mg/kg/日	器官発生期
ヘキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.7 mg/l	妊娠期間中
ヘキサン	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 1,140 mg/kg/日	90 日
ヘキサン	吸入した場合	雄性生殖機能に有毒	ラット	LOAEL 3.52 mg/l	28 日
酸化亜鉛	経口摂取	生殖・発生毒性の区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 125 mg/kg/日	交配前および妊娠中。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジメチルエーテル	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 10,000 ppm	30 分
ジメチルエーテル	吸入した場合	心臓感作性	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	NOAEL 100,000 ppm	5 分
アセトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
アセトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
アセトン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 時間
アセトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	
アセトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
シクロヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
シクロヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
シクロヘキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
2-メチルペンタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
2-メチルペンタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
2-メチルペンタン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	
2-メチルペンタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。

3-メチルペンタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
3-メチルペンタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
3-メチルペンタン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	
3-メチルペンタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	心臓感作性	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	
2,3-ジメチルブタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
ヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	NOAEL 入手できない	8 時間
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24.6 mg/l	8 時間

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジメチルエーテル	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25,000 ppm	2 年
ジメチルエーテル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 20,000 ppm	30 週
アセトン	皮膚	眼	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	3 週
アセトン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 3 mg/l	6 週
アセトン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 日
アセトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 119 mg/l	入手できない
アセトン	吸入した場合	心臓 | 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 45 mg/l	8 週
アセトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,896 mg/kg/day	14 日
アセトン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,400 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg	13 週
アセトン	経口摂取	皮膚 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 11,298	13 週

					mg/kg/day	
シクロヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 24 mg/l	90 日
シクロヘキサン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.7 mg/l	90 日
シクロヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2.7 mg/l	10 週
シクロヘキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 24 mg/l	14 週
シクロヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.6 mg/l	30 週
2-メチルペンタン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
2-メチルペンタン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	8 週
2-メチルペンタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 2,000 mg/kg/day	28 日
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 造血器系 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
3-メチルペンタン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
3-メチルペンタン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	8 週
3-メチルペンタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 2,000 mg/kg/day	28 日
2,3-ジメチルブタン	吸入した場合	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.3 mg/l	14 週
2,3-ジメチルブタン	経口摂取	末梢神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	8 週
2,3-ジメチルブタン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 2,000 mg/kg	28 日
ヘキサン	吸入した場合	末梢神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ヘキサン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 1.76 mg/l	13 週
ヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	6 月
ヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.76 mg/l	6 月
ヘキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 35.2 mg/l	13 週
ヘキサン	吸入した場合	聴覚系 ｜ 免疫システム ｜ 眼	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ヘキサン	吸入した場合	心臓 ｜ 皮膚 ｜ 内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.76 mg/l	6 月
ヘキサン	経口摂取	末梢神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,140 mg/kg/day	90 日
ヘキサン	経口摂取	内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 免	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	13 週

		疫システム ｜ 腎臓および膀胱				
酸化亜鉛	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	10 日
酸化亜鉛	経口摂取	内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	その他	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
シクロヘキサン	誤えん有害性
2-メチルペンタン	誤えん有害性
3-メチルペンタン	誤えん有害性
2,3-ジメチルブタン	誤えん有害性
ヘキサン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分２：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
クロロプレンゴム1	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
クロロプレンゴム2	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EL50	55 mg/l
2,3-ジメチル	79-29-8	ニジマス	類似コンパウ	96 時間	LL50	12 mg/l

ブタン			ンド			
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EL50	3 mg/l
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	30 mg/l
2-メチルペンタン	107-83-5	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
3-メチルペンタン	96-14-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
アセトン	67-64-1	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	11,493 mg/l
アセトン	67-64-1	無脊椎動物	実験	24 時間	LC50	2,100 mg/l
アセトン	67-64-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5,540 mg/l
アセトン	67-64-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1,000 mg/l
アセトン	67-64-1	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	1,700 mg/l
アセトン	67-64-1	シマミミズ	実験	48 時間	LC50	>100
シクロヘキサン	110-82-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	4.53 mg/l
シクロヘキサン	110-82-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.9 mg/l
シクロヘキサン	110-82-7	バクテリア	実験	24 時間	IC50	97 mg/l
ジメチルエーテル	115-10-6	バクテリア	実験	該当なし	EC10	>1,600 mg/l
ジメチルエーテル	115-10-6	グッピー	実験	96 時間	LC50	>4,100 mg/l
ジメチルエーテル	115-10-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>4,400 mg/l
ヘキサン	110-54-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2.5 mg/l
ヘキサン	110-54-3	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3.9 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l

メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	液状化	推定値	3 時間	EC50	6.5 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.052 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	0.21 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.07 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.006 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.02 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
クロロプレンゴム1	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
クロロプレンゴム2	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301F
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	5.1 日（t 1/2）	
2-メチルペンタン	107-83-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
2-メチルペンタン	107-83-5	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	6.1 日（t 1/2）	
3-メチルペンタン	96-14-0	類似コンパウンド 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
3-メチルペンタン	96-14-0	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	6.1 日（t 1/2）	
アセトン	67-64-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	78 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
アセトン	67-64-1	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	147 日（t 1/2）	
シクロヘキサン	110-82-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	77 %BOD/ThOD	OECD 301F
シクロヘキサン	110-82-7	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	4.3 日（t 1/2）	
ジメチルエーテル	115-10-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
ジメチルエーテル	115-10-6	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	12.4 日（t 1/2）	
ヘキサン	110-54-3	実験 生態濃縮	28 日	生物学的酸素要求量	100 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
ヘキサン	110-54-3	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	5.4 日（t 1/2）	

メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
酸化亜鉛	1314-13-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
クロロプレンゴム1	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
クロロプレンゴム2	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	35	Catalogic™
2,3-ジメチルブタン	79-29-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.42	
2-メチルペンタン	107-83-5	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	47	Catalogic™
2-メチルペンタン	107-83-5	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.21	EPI suite™
3-メチルペンタン	96-14-0	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	81	Catalogic™
3-メチルペンタン	96-14-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.6	
アセトン	67-64-1	実験 BCFーその他		生物濃縮係数	0.65	
アセトン	67-64-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.24	
シクロヘキサン	110-82-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	129	OECD305-生体濃縮度試験
シクロヘキサン	110-82-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.44	
ジメチルエーテル	115-10-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヘキサン	110-54-3	モデル 生態		生物濃縮係数	50	Catalogic™

		濃縮				
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
酸化亜鉛	1314-13-2	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	≤217	OECD305-生体濃縮度試験

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名：　１９５０ エアゾール

輸送分類（IMO）：2.1　引火性ガス

輸送分類（IATA）：2.1　引火性ガス

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
消防法：第四類第一石油類
高圧ガス保安法：通商産業省告示１３９号（平成９年３月２４日）　エアゾール
船舶安全法、航空法：高圧ガス
労働安全衛生法：施行令別表第一　危険物
化管法：第１種指定化学物質
海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
2,3-ジメチルブタン	ヘキサン	該当	該当	該当
2-メチルペンタン	ヘキサン	該当	該当	該当
3-メチルペンタン	ヘキサン	該当	該当	該当
アセトン	アセトン	該当	該当	該当
シクロヘキサン	シクロヘキサン	該当	該当	該当
ジメチルエーテル	ジメチルエーテル	適用しない	該当	該当
ヘキサン	ヘキサン	該当	該当	該当
ヘキサン	ノルマル-ヘキサン	該当	該当	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
酸化亜鉛	酸化亜鉛	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
シクロヘキサン	シクロヘキサン	629	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション２：注意書き - 保管 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報修正.
セクション４：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション７：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション８：眼および顔面保護 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：保護具 - 皮膚/体幹 情報の追加.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション８：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の追加.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.

セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（皮膚） 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。